

日本とドイツの里地・里山の 生物多様性・生態系サービス研究

日時:平成26年8月30日(土)13:30~16:30 場所:福井県三方青年の家 (福井県若狭町鳥浜122-27-1)



開催趣旨:

生物多様性条約第10回締約国会議(2010)において日本が提案した「SATOYAMAイニシアチブ」が採択され、SATOYAMA(里地・里山)の生物多様性・生態系サービスの評価が重要な科学的課題の一つとなっている。

ドイツ連邦研究教育省は、そのような課題をいち早く認識し、日本とドイツのSATOYAMAの生物多様性・生態系サービスに関する研究プロジェクト(JAGUAR)を推進している。その研究サイトの一つ福井県三方湖畔に、昨年、福井県は、福井県里山里海湖研究所を開設した。

自然環境保全再生分科会は、里地里山の生物多様性や生態系サービスに深い関心を持ち、その生態系サービスの一つ「防災・減災」に関する提言をまとめつつある。この公開講演会では、新たな研究領域における研究の発展とその成果を、研究者間のみならず住民や行政担当者などとも広く情報共有することをめざす。

- 13:30 **挨拶と趣旨紹介「自然環境保全再生分科会の活動と里地・里山の生物多様性・生態系サービス:生態系インフラストラクチャーに焦点をあてて」**
鷲谷いづみ(日本学術会議二部会員 統合生物学委員会委員長/自然環境保全再生分科会委員長)
- 13:45 **福井県からの挨拶**
ドイツからの挨拶 アンドレアス・キルヒナー参事官(Andreas Kirchner)(ドイツ大使館 科学課長)
- 14:00 **「ヨーロッパの生態系インフラストラクチャー」** 一ノ瀬友博(日本学術会議連携会員)
- 14:20 **「ドイツのSATOYAMAの生物多様性・生態系サービス研究」**
シュテファン・ホーテス(Stefan Hotes)(マールブルグ大学)
- 14:40 **「三方五湖の生物多様性・生態系サービスと自然再生」**
吉田丈人(日本学術会議連携会員)
- 15:00 **休憩**
- 15:20 **意見交換(「福井県里山里海湖研究所研究員の研究に向けた抱負」表明を含む)** 司会:鷲谷いづみ

お問い合わせ先
 ・東京大学農学生命科学研究科
 保全生態学研究室
 電話:03-5841-8915
 ・福井県安全環境部 自然環境課
 電話:0776-20-0306

主催:日本学術会議 統合生物学委員会・環境学委員会 自然環境保全再生分科会
 共催:ドイツ学術交流会・福井県 後援:ドイツ連邦教育研究省・ドイツ大使館・若狭町・美浜町

DAAD

Deutscher Akademischer Austausch Dienst German Academic Exchange Service



Federal Ministry
of Education
and Research

ドイツ 科学・イノベーション
フォーラム 東京

発想の国 ドイツ



ドイツ連邦共和国大使館 東京
Botschaft der
Bundesrepublik Deutschland Tokyo



健康長寿の福井